

「JTの森 積丹」～海を育む水源の森に～

未整備森林の町有林を計画的に整備することにより、森林の持つ多目的機能の向上を図ることと、森林保全活動を通じ自然や資源、産業、福祉、教育や文化など様々な分野において、町民とJT社員とその家族との交流を深め、地域の新たな活性化を図るため、北海道の仲介により、平成22年11月30日に日本たばこ産業株式会社と森林整備協定を締結しました。

「JTの森」は全国で9箇所目、北海道で初めての場所です。主な森林整備や活動をご紹介します。

森林整備計画

美国川・積丹川・余別川(保護水面)の3河川の流域に隣接する町有林を位置づけ、「海を育む森づくり」の実現に向け森林整備を推進します。

協定森林面積 約350ha

美国川流域エリア 100ha・積丹川流域エリア 95ha・余別川流域エリア 155ha

主な森林整備

植樹・下草刈・除間伐・作業道開設など

生態調査

この地域・環境により適した森林整備を実現するため、動植物など調査を実施します。

森林保全活動

町民やJT社員とその家族が一同に会し、森林保育施業の体験や森の役割などの森林学習を通じ森林環境保全に対する意識の向上を図り、地域間の交流を図ります。

保育施業や作業道修理などを実施。

保育施業(植樹や下刈、除伐など)を実施。作業道の補修なども行います。

森林学習など

森林散策やしいたけのホダ木切り、遊歩道のチップ敷きなど行います。

その他

「JTの森」はこれから10年に渡り森林保全活動を行います。上記のほか、例えば、森だけでなく川や海に活動場所とするなど、積丹町ならではの新たな取り組みを、事例や型枠にこだわらず皆様と一緒に考えたいと思います。

～鳥取県智頭町の活動～

